

第7回 小樽商科大学 役員会 議事要旨

日 時：平成20年11月25日（火）15：50 ～ 16：30

場 所：学長室

出席者：学長，大矢理事，中村理事

欠席者：和田理事

陪 席：池田監事，土橋監事，奥田副学長，事務局長

審議に先立ち，10月27日（月）開催の第6回役員会議事要旨の確認を行った。

●議題1 創立百周年記念事業について

(審議資料1-1-1-2)

学長より，本件については，創立百周年記念事業委員会及び各事業毎に設置された小委員会において，現在，準備を進めているところであり，そのうち3つの事業（「(1) 創立百周年記念募金について」「(2) 教育研究振興基金（仮称）の創設について」「(3) 学生寮の建設について」）は，本学の経営上，大きく関わる事業であり，本日開催の経営協議会において，原案がまとまったので，審議願う旨発言があった。

次いで，3つの事業について，学長及び担当理事並びに事務局より説明後，審議に移り，審議の結果，承認された。

●議題2 国立大学法人小樽商科大学職員旅費規程の一部改正について

(審議資料2)

学長より，本件については，航空会社による国際線航空券の発券手数料の廃止を受けて，旅行会社が利用客からの同手数料の徴収を開始したことに伴い，当該手数料を旅行雑費に計上できるよう，職員旅費規程の一部改正するもので，本日開催の経営協議会において，原案がまとまったので，審議願う旨発言があった。

次いで，詳細について，審議資料2に基づき，事務局（財務課長）から説明後，審議に移り，審議の結果，承認された。

承認後，本件については，12月1日から施行する旨併せて説明があった。

●報告事項1 国大協予算要望書への北海道支部の対応について

(報告資料1)

学長より，本件について，報告資料1に基づき，以下のとおり報告があった。

- ・国立大学協会より文部科学大臣へ「21 年度国立大学関係予算の確保・充実について」の提出があった旨報告があり，各大学でも必要に応じ地元の国会議員，自治体関係者等へ働きかけを行うよう要請があった。
- ・これを受け，北海道地区としては，報告資料 1 の要望書により，関係国会議員，道知事，経済団体，関係各市長等に要望を行うことになった。
- ・本学は，11 月 14 日（金）に小樽市長と小樽商工会議所会頭に対して要望書を提出した。
- ・小樽市では，本要望書の取扱について，市長会を通じ，要請することとなった。

●その他

学長より，今回は，例年であれば，平成 21 年度の概算要求の結果が判明すると思われる。本学からは，新規事業として，特別教育研究経費では，「グローバルズムと地域経済」(約 5,000 万円)，施設費としては，ボイラー等の設備更新の要求等を行っている。その結果について，今回の本会議で報告する予定である旨発言があった。

引き続き，中村理事から，(社) 緑丘会における現在の検討状況について，以下のとおり報告があった。

(1) 学生寮の寄宿料について

- ・現在，寄宿料は 3 万円程度で検討しているが，料金を 2 万 9 千円に下げ，下げた 1,000 円分を後援会から，大学側に助成する形で検討を進めている。
- ・財源は，毎年，入学生の父母から納入される賛助会員費 500 万円と，今年度から，新たに納入受付を開始した「卒業後 3 年分」の正会員費 500 万円，合計 1,000 万円(88 人×1,000 円×12 カ月で年間 105 万程度) から捻出することを考えている。
- ・3 万円と 2 万 9 千円では，心理的な効果もあり，学生寮に入居を希望する学生がより増加するのではないかと。

(2) (社) 緑丘会の入会パンフレットについて

- ・現在の(社) 緑丘会の紹介を中心としたパンフレットから，大学と(社) 緑丘会との関係を中心としたパンフレットに作り替えることを考えている。
- ・学長の挨拶からはじまり，学生の就職支援について，大学と(社) 緑丘会が協力して対応していることを強調する。
- ・(社) 緑丘会の挨拶は，理事長からのものではなく，事務局長からの挨拶とし，パンフレットの裏面に掲載する。
- ・新たなパンフレット作成に伴い，(社) 緑丘会を PR するため，在校生にも併せて配付することを検討中である。
- ・(社) 緑丘会を PR し，最近，入会率が激減している正会員を一人でも多く集めたい。
- ・また，卒業祝賀会については，現在，新規入会者について，参加費無料としているが，

卒業生すべてを無料とし、招待制とすることも検討している。

【報告後の意見交換】

- ・今後の大学のあり方で、アメリカの大学などをよくモデルとするが、日本の大学の良さをもっとアピールすべきではないか。本学では、ゼミが学生の企画力を育てている。結局は、良い先生が、質の高い学生を生み出していると考えられる。(社) 緑丘会としても、それらの先生に対し、何らかの形で資金的な助成を行うなども検討しては如何か。
- ・企業から見た本学学生の質は、非常に高いものがある。企画力も優れているが、総合的なバランスも優れているとの評価を受けている。
- ・在校生に(社) 緑丘会のパンフレットを配り、PR するという意味でも、大学側として、2・3年次を学年毎に一同に集める集会などを検討してはどうか。
- ・最近、大学の教育だけでは、学生を社会人として養成することが難しくなっており、卒業後の学生のフォローアップが重視されてきている。その役割の一端を(社) 緑丘会にも協力して頂きたいと考えている。

最後に、学長より、次回の役員会については、**12月25日(木) 13:00 から**開催する予定である旨発言があった。引き続き、役員懇談会が行われた。

以 上